

当科は心臓血管疾患および高血圧、脂質異常症、糖尿病、肥満などの生活習慣病など広範囲にわたる診療を行っております。

心臓血管疾患では、虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）、心臓弁膜症、心筋症、不整脈、ペースメーカー植込み、先天性心疾患、肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症、大動脈疾患などを扱い、さらに救急診療としましては、心不全、急性心筋梗塞、不安定狭心症、不整脈、大動脈解離、肺血栓塞栓症などの循環器救急に 24 時間迅速に対応できる体制をとっています。また、心臓血管外科医と密に連携をとり、常に最適な医療が提供できる体制を整えています。

虚血性心疾患の方には、外来で施行可能な 3 つの非侵襲的な画像診断を整えています。核医学検査（心筋シンチ）は年間 250-280 件程の検査数があり、県下でも最も多い検査数となっています。320 列 MDCT による冠動脈 CT は 15 分程度で冠動脈の形態、狭窄度、石灰化の分布などが評価でき、冠動脈疾患の可能性の有無を非侵襲的に判別するのに非常に有用で、年々検査数が増加しています。2022 年 FFR-CT も新たに導入し、外来レベルで冠動脈狭窄と心筋虚血を同時に非侵襲的に評価が可能になっております。また心臓 MRI 検査も行っており、心機能・梗塞の範囲・虚血の有無、心筋症の鑑別など心臓に関する多くの情報が一度に得られる画像診断方法として活用されています。入院下で行う心臓カテーテル検査においては、なるべく患者さんの負担にならないよう極力手首の動脈から検査を行っております。血行再建の選択においては、患者さんの背景、重症度、年齢、糖尿病の有無などに応じて、内科的保存療法（投薬観察）か、冠動脈形成術か、冠動脈バイパス術かを厳密に選択しております。複雑重症病変や高度石灰化病変に対しては、ロータブレードやダイヤモンドバック、ショックウェーブバルーン、DCA といった特殊機器を用いたカテーテル治療にも習熟しており、良好な治療成績を収めています。

高齢化に伴い種々の心疾患を基礎とする心不全患者さんが激増しており、必要性および重症度に応じて入院の上で薬物療法の導入や調整を行い、看護師、薬剤師、リハビリ技師、栄養士さんなど心不全カンファレンスを行い、心不全再入院を極力減らすようチーム医療に努めております。また重症症例には救急科からのサポートも受けながら、補助循環装置、呼吸補助装置なども駆使して救命率向上を目指し集学的治療を行っております。

不整脈疾患に対しては、薬物療法の他に必要な方にはカテーテルアブレーションによる不整脈の根治療法も行っております。現在は藤田医科大学ばんだね病院 祖父江医師の協力を得ながら発作性・慢性心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍、心室性期外収縮、心室頻拍などに対しアブレーション治療を行っております。徐脈性不整脈に対しては、ペースメーカー治療を行っております。最近では皮膚に手術痕を残さず短期間（2泊3日）の入院ですむ経静脈植え込み型のリードレスペースメーカーの植え込み術も行っております。

肺血栓塞栓症・深部静脈血栓症に対しては、下肢静脈エコー、静脈造影、心エコー、マルチスライス CT、肺血流シンチ、肺動脈造影などを使用して、正確な診断と適正な治療（抗凝固療法、血栓溶解療法、回収可能型下大静脈フィルター留置術など）を行っております。

大動脈疾患に関しては、当院の血管外科との連携により、迅速かつ最も安全で確実な治療を提供しています。

以上、循環器疾患は症例数も多く、緊急性が高い疾患が多いため、当科では 24 時間、365 日対応可能な体制を敷いております。当院にかかりつけの患者さんのみならず、近隣遠隔を問わず紹介患者さんに対しては、迅速かつ柔軟に対応させていただいております。

◆入院疾患の概要 2024年1月1日～2024年12月31日

疾患名	事例数	疾患名	事例数
狭心症	288	閉塞性動脈硬化症	39
心不全	383	大動脈弁狭窄症	17
急性心筋梗塞	77	大動脈弁逆流症	6
慢性虚血性疾患	174	僧帽弁狭窄症	2
肥大型心筋症	3	僧帽弁逆流症	20
拡張型心筋症	6	肺塞栓症	19
心房細動	99	静脈血栓症	10

◆主要検査件数 2024年1月1日～2024年12月31日

検査名	件数	備考
心臓超音波検査（経胸壁/経食道）	4,880 16	
心臓MRI検査	68	
心臓CT検査	284	(FFR-CT 66件)
T1心筋シンチ検査	181	(薬剤負荷 167件)
トレッドミル検査	38	
CPX	66	
マスター心電図検査	68	
ホルター心電図検査	24時間： 428件	7日間： 70件
ABI	1,097	
TcPo2	43	
簡易PSG	32	

◆主疾患を含む治療成績 2024年1月1日～2024年12月31日

	件数	備考
経皮的冠動脈形成術総数	219	初期成功率 99%
ACSに対する緊急PCI	50	
ロータブレーター	22	
ダイヤモンドバック	12	
DCA	4	
ショックウェーブバルーン	17	
末梢動脈血管内治療	20	(内、重症下肢虚血に対するもの 13例)
カテーテルアブレーション	9	
ペースメーカ(PM)植え込み術	43	新規 32例 (リードレスPM 5例) 電池交換 11例

◆主疾患プロトコール

冠動脈造影検査 経皮的冠動脈形成術 急性心筋梗塞 末梢動脈血管内治療

急性大動脈解離 ペースメーカー植込み・電池交換 カテーテルアブレーション